

認知症を引き起こす主な病気

アルツハイマー型認知症

一番多い認知症。老人斑や神経原線維変化が海馬を中心に脳の広範に出現する。記憶障害から始まり、徐々に進行し、見当識障害、徘徊、帰宅願望、無気力等が出やすい。

前頭側頭葉変性症

大脳の前頭側頭葉が萎縮する。同じ言葉や動作を繰り返す。同じ服を着る。よく行く店で品物を持ち去る。家族等に興味を示さなくなる等、年単位で進行する。



レビー小体型認知症

レビー小体が脳に発生する。手の震え等パーキンソン病に似た症状や幻視、妄想、睡眠時異常言動等の症状がみられる。調子の良い時と悪い時を繰り返しながら進行する。

血管性認知症

脳梗塞、脳出血等が原因で脳の一部が壊死してしまう。物忘れ、手のしびれ、麻痺、感情のコントロールがうまくいかない。急に発症することもある。



加齢によるもの忘れと認知症のもの忘れ、どう違うの？

【加齢によるもの忘れ】

- 経験したことが部分的に思い出せない
- 目の前の人の名前が思い出せない
- 何を食べたか思い出せない
- 約束をすっかり忘れてしまった
- 曜日や日付を間違えることがある

【認知症による記憶障害】

- 経験したこと全体を忘れる
- 目の前の人や誰なのかわからない
- 食べたこと自体を忘れる
- 約束したこと自体を忘れていて
- 月や季節を間違えることがある

